

三好市 当初予算

平成30年度 三好市一般会計予算 244億3943万円



平成30年度一般会計当初予算額は244億3943万円、前年と比較して7491万円、率にして0.3%の増となっています。限られた財源で地域・住民のため、より効率的に事業執行することの重要性から、ゼロベースで予算を見直し、事務事業評価と整合性のとれた予算計上に努めました。

市民の安心・安全な環境を確保することを主要な施策と位置付け、防災拠点の中核施設となる本庁舎整備の推進や防災・減災対策、住環境の整備など市民を守る施策を推進します。

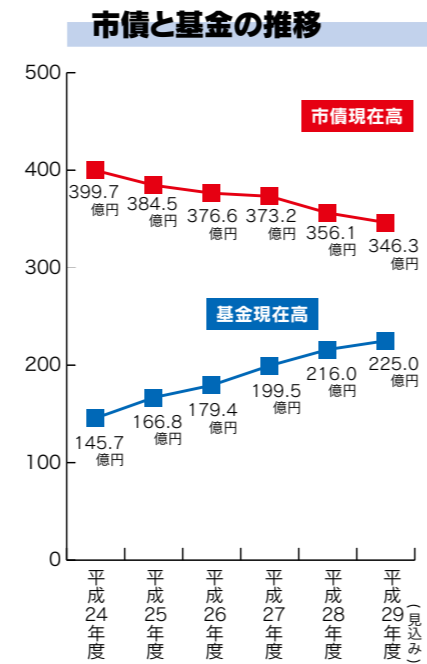
人口減少対策は、「人口ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に、豊かな自然景観や歴史・文化など地域固有の資源を活用した観光振興により交流人口を拡大し、関連産業の充実を図ることで、人口減少の緩和につなげます。

公共施設の老朽化対策は、「公共施設等再配置計画」に基づき更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、公共施設の適切な配置を推進します。

また、子育て支援、教育の充実、雇用の拡充、高齢者支援を図ることで安心して生活できるまちづくりを推進します。

【お問い合わせ先】
三好市役所財政課 (0727606)

市債残高と基金現在高(一般会計)



平成29年度末の市債残高は、346億3276万円の見込みで前年度比9億7414万円の減となる見込みです。基金現在高は224億9670万円で前年度比8億9180万円の増と見込んでいます。

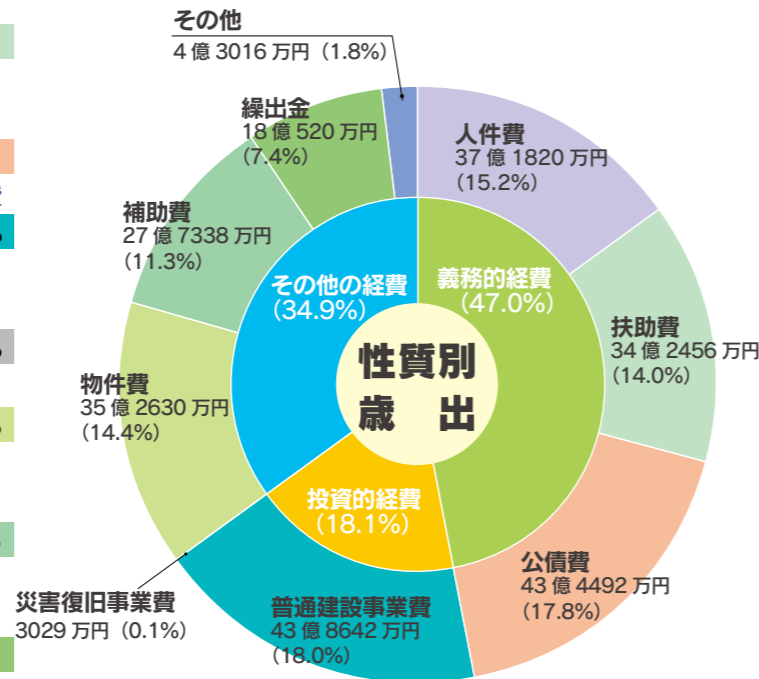
各特別会計当初予算額

井内財産区	385万円
国民健康保険(事業)	35億1033万円
国民健康保険(直診)	2億4493万円
後期高齢者医療	5億542万円
浄化槽事業	4億3326万円
農業集落排水事業	5785万円
土地取得事業	50万円
給食事業	1億309万円
簡易水道事業	490万円
水道事業会計	8億76万円
病院事業会計	10億2433万円

※水道・病院事業会計は収益的支出予算

性質別歳出の内訳

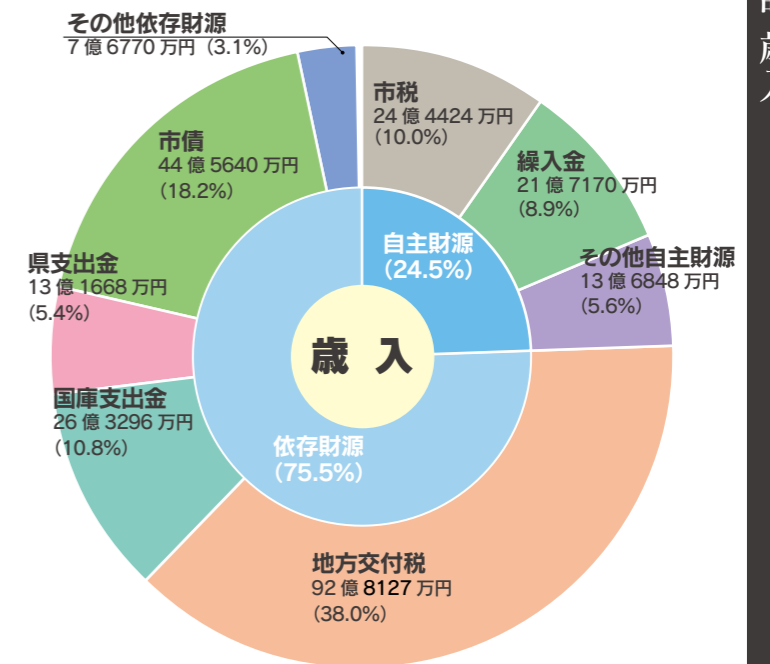
項目	予算額	対前年比
人件費	37億1820万円	▲3.9%
職員給与や特別職・議員の報酬などの経費		
扶助費	34億2456万円	0.6%
生活困窮者・高齢者・児童・心身障害者等に対して行っている様々な支援に要する経費		
公債費	43億4492万円	▲3.9%
市が借りた借金の元金・利子等を支払うための経費		
普通建設事業費	43億8642万円	10.5%
道路・橋りょう・学校・庁舎等の共用または公用施設の新増設の建設事業に必要な経費		
災害復旧事業費	3029万円	▲74.8%
災害で被災した道路などを復旧するための経費		
物件費	35億2630万円	4.8%
消耗品・光熱水費・委託料等の消費的性質をもつ経費		
補助費	27億7338万円	1.3%
各種団体への助成金や一部事務組合への負担金等の経費		
繰出金	18億520万円	▲7.2%
特別会計の収支不足を補てんするため、一般会計から特別会計に対して支出する経費		
その他	4億3016万円	▲0.4%
維持補修費・貸付金・積立金・予備費等		
合計	244億3943万円	0.3%



一般会計性質別歳出

歳入の内訳

項目	予算額	対前年比
市税	24億4424万円	0.9%
納付された市民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税など(国保税は含まず)		
繰入金	21億7170万円	▲9.3%
財源不足などにより、積み立てた基金などから一般会計に繰り入れるお金		
その他自主財源	13億6848万円	▲1.1%
分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入、繰越金		
地方交付税	92億8127万円	▲3.0%
地方自治体間の財政の不均衡を調整し、一定の行政サービスができるよう国から交付されるお金		
国庫支出金	26億3296万円	▲8.4%
国の補助事業に対して国から交付されるお金、これに県や市のお金を合わせて各種事業が行われる		
県支出金	13億1668万円	▲2.2%
県の補助事業に対して県から交付されるお金、これに市のお金を合わせて各種事業が行われる		
市債	44億5640万円	23.5%
市が各種事業を行うために借り入れるお金		
その他依存財源	7億6770万円	0.3%
地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金		
合計	244億3943万円	0.3%



一般会計歳入

平成30年度 三好市一般会計予算 244億3943万円



教育文化のために

- **旧三野町役場庁舎保存修理事業 1億3736万円**
国登録有形文化財「旧三野町役場庁舎（現三野支所庁舎）」を活用した地域活性化を図るため、耐震化工事等保存修繕に係る1期工事として、付属棟、東棟の改修工事などを「旧三野町役場庁舎保存活用計画」に基づき実施します。
- **天然記念物および名勝大歩危小歩危保存活用計画策定事業 287万円**
国の天然記念物・名勝に指定された大歩危小歩危の保存活用を図るため、保存活用計画を策定します。
- **ウェイクボード世界大会（2018）開催事業 6224万円**
8月30日～9月2日までの4日間、国内初となるウェイクボード世界選手権大会を池田湖で開催します。
- **池田総合体育館改修工事 3億1080万円**
総合体育館の屋根、内装、非構造部材、トイレ等設備機器、外構などの改修およびエレベーター新設工事を行います。

- **中学生海外留学助成事業 257万円**
市内中学校に在籍し、三好市内に居住している生徒を対象に、ザ・ダルズ市内の学校への留学費用を助成します。

ピックアップ事業
子育て支援を充実
年間約5万円の給食費を無償化

中学生の給食費を無償化します

- **中学生給食無償化事業 1976万円**
子ども・子育て支援施策の一環として、子育て世代の中で経済的負担が比較的高い中学生の学校給食費の無償化を実施します。
給食無償化は、市内に住所を有し、市内の中学校に在籍する生徒と生計を一にする保護者に補助するものです。対象生徒数は約500名。

- **インバウンド広域周遊観光促進観光地域支援事業 800万円**
外国人観光客と都市部からの観光誘客を図るため、外国人観光客動態調査や多言語対応ができる環境を整備します。

- **インバウンドIya Valley受入環境整備促進事業 2787万円**
さらなる外国人観光客と都市部からの観光誘客を図るため、観光施設において公衆トイレの洋式化や奥祖谷かずら橋トイレの新設工事などを行います。

- **林地台帳整備事業 907万円**

市道など交通体系や生活環境の整備

- **街路灯LED化事業 9785万円**
三好市が管理する街路灯約1,900基をLED照明に取り替え、環境的負荷、経済的負荷の軽減を図ります。
- **橋梁・トンネル等点検事業 4289万円**

防災活動のために

- **木造住宅耐震関係事業 7447万円**
地震に対する「市民の安全安心」を支援するため、木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、簡易耐震化と併せて行う「リフォーム」などの費用について補助します。
- **防災行政無線デジタル化事業 3707万円**
平成32年度末をめどに老朽化している市内の防災無線をデジタル化するため、平成30年度は実施設計業務を行います。
- **消防団員用安全装備品整備事業 896万円**
消防団員の活動中の安全を図るため、ヘッドライトおよび強化繊維手袋を配備します。
- **防火水槽設置事業 3971万円**
火災時の消防水利を確保・拡充させるために、防火水槽を設置します。
- **消防団積載車両購入事業 4949万円**
老朽化した消防車両6台を買い替えます。
- **ハザードマップ作成事業 1115万円**
地震や水害、土砂災害などの被害がどのように地域に及ぶか、またその対応をどのようにするかを可視化、具体化するために市内全域のハザードマップを作成し、地域住民や学校、事業所などの防災意識の啓発に活用します。

- **生涯活躍のまちづくり事業 1億740万円**
中心市街地エリアでは、6月開設を予定している地域交流拠点施設「真鍋屋」を核とした各種事業に対する取り組みを支援します。州津エリアにおいては、暮らしサポート事業や拠点施設の整備に対する補助を行い、事業計画に基づく「生涯活躍のまちづくり事業」の取り組みに対し支援を行います。
- **移住コーディネーター事業 336万円**
移住・定住の一層の促進を図るため、移住交流支援センターに専任の「移住コーディネーター」を配置します。
- **道の駅基本構想・基本計画策定事業 1046万円**
平成32年度に開通が予定されている猪ノ鼻道路と、現在の国道32号線が交差する池田町州津地区に、市が所有する遊休地を活用し「道の駅」を整備するため、関係機関で組織する検討委員会を設置し、道の駅基本構想・基本計画の策定を行います。

産業振興のために

- **特産品づくり事業 814万円**
- **山村活性化事業 700万円**
- **6次産業化推進事業 520万円**
市内のお茶、芋、ヒエなどの雑穀を使った商品開発や販売など地域の農産物を生かした6次産業化の取り組みを支援するほか、地域農産物を市内の観光事業所へ配送する地産地消事業を実施します。
- **創業・空き店舗等再生支援事業補助金 600万円**
市内の空き店舗などを活用して事業活動を行う場合、改修に要する経費および賃借料の一部を補助することで、空き店舗などの解消による賑わいの創出と地域経済の活性化を図ります。また、本年度から新たに創業する方が行う事業に必要なマーケティング調査、外注費などを補助の対象とします。
- **ラフティングブランド構築事業 400万円**
ラフティング世界大会開催の実績を生かし、企業や団体向けの研修ツアーを誘致するため、新規採用職員の研修にラフティングを活用するとともに、その様子をまとめたPR動画を作成します。

平成30年度 当初予算に計上された主な事業

保健・衛生のために

- **乳児家庭保育支援給付事業 832万円**
乳児で出生から満5か月を迎え、満1歳の誕生日の属する月の前月末まで家庭内で保育している保護者に対し、給付金（月額30,000円）を支給します。
- **山間地介護保険特別支援事業補助金 1200万円**
- **育児用品購入補助事業 1584万円**
2歳までの乳幼児の育児に必要な用品の購入費に対して助成を行います。乳幼児1人につき月額5,000円まで。
- **子どもはぐくみ医療費助成 6260万円**

生活向上のために

- **本庁舎整備事業 8億9011万円**
平成29年度に着手した庁舎整備基本設計および実施設計を継続して進め、基本設計完了後事業認定の申請を行い、認定後に用地および補償契約を締結します。
- **ケーブルテレビ三好井川地区機器整備工事 1億5000万円**
老朽化しているケーブルテレビの通信設備を最新型の機器に更新して、安定した通信と維持管理の軽減を図ります。更新後は、超高速インターネットサービス（1Gbps）が利用できるようになります。
- **集落支援包括事業 3600万円**
買い物支援や道路の維持管理、集会所の新改築および鳥獣害対策、生活用水確保などに関する地域の自主的な活動に対して支援を行います。
- **定住促進対策事業 1971万円**
移住者が「三好市空き家情報登録制度（空き家バンク）」の登録物件を利用する場合、移住などに要する経費として「移住者奨励金」を支給、空き家を改修する場合は「空き家改修補助金」を交付します。また、移住を検討している方を対象に一定期間、市内で日常生活を体験してもらい、地域の風土や気候を体感したり、住民との交流、農林業体験や仕事、住まい探しの拠点として「お試し住宅」の提供を行います。

